

山田みやこの活動報告

令和8年4月23日（木）

福岡県の不登校対策・新福岡県立美術館建設・訪問介護事業者に対する支援の3つについての会派視察

①不登校対策

教育庁 教育振興部社会教育課より

福岡県の不登校の現状

令和6年度小中学校で19,307人の内約3割が支援を受けていない

年々低年齢化

様々な経験が少なく、人との関係も苦手、他人との距離感を取る

社会的な孤立

SOSが出しにくい

地域総がかりで行う支援事業である

○地域学校協働本部を活用したサポートスポット（居場所）

- ・中核市政令市を除く57市町村
- ・コミュニティセンター、公民館、図書館を使用
- ・週4日 1日2時間
- ・子どもの見守り、活動内容の企画・実施、在籍校や保護者との連絡調整
- ・年3回 SC・SSW・臨床心理士・義務教育課相談室指導主事・不登校経験のある若者や保護者が講師となり交流・相談
- ・サポートスポットに通う児童生徒の体験活動実施（登山・キャンプ・農耕体験等）
- ・地域ぐるみで見守る仕組みづくりのための円卓会議 年1回

※児童生徒の社会的自立を伸ばす体験・経験を重視している

②新福岡県立美術館建設について

地域振興部文化局文化政策課新県立美術館建設室より

- ・風光明媚な都市公園「大濠公園」南側に建設地決定
- ・福岡市美術館と近接し、全国有数の文化芸術エリア誕生
- ・隣接する日本庭園や大濠公園と一体となって整備推進
- ・令和11年度開館予定 設計は、隅研吾氏
- ・展示面積は現在の3倍、天井高も最大で2倍
- ・本県の文化芸術の拠点・観光やまちづくりの新たな拠点
- ・県民に親しみを持ってもらえるよう九州産業大学との連携で事業愛称を制作「大濠START PROJECT」
- ・担当デザイナーは、佐藤卓氏
- ・機運醸成の為、隅研吾さんと県民の直接対話
- ・開館までの取組みやイベントのお知らせで情報発信
- ・バリアフリーを徹底した設計
- ・福岡県立文化芸術振興基金50億円設置し、寄付等外部資金の受け皿とし応援団づくりを行う
- ・工事費310億円 PFIはなし
- ・大濠公園開園100周年となる令和11年度の開館に向け、今年度(R8)から建設に着工

※PFIにしなかったのは、開園まで難期間の為、県が直接行うことになった

③訪問介護等サービス体制強化事業について 保健医療介護部より

訪問介護の人材確保が一層困難な状況

65歳以上が27.2%で高齢化した職員が現場を支えている

県内で令和6年度廃止した事業所のうち人員不足が50%、経営難が32.6%
約600事業所が赤字と推定される

経営改善のためのサービス体制強化事業

①研修体制の構築支援

1事業所あたり10万円

②経験年数が短いホームヘルパーへの同行支援経費設定

30分未満の同行支援1回につき 2,500円～3,500円

30分以上 〃 4,000円～5,000円

③雇用安定の為、ヘルパーの常勤化促進に 1人 10万/1カ月(3カ月まで)

④小規模法人の協働化・大規模化への支援として

ICT整備として、150万～200万/事業所

R7年度は経営改善支援事業として合計補助額36,760,000円の実績

※各自治体において、訪問介護サービス体制は今後ますます重要とされる
十分な支援の為の予算化が望まれる

